



講演

唐物の からもの

神能かみのうにおける

中国のイメージ

『東方朔』とうほうしやく 『西王母』せいおうぼ

『菊慈童』きくしどう 『鶴亀』つるかめ をめぐって

シンガポール国立大学日本研究学科准教授

リム・ベンチャー Lim Beng Choo

青山学院大学文学部日本文学科◎主催

唐土から伝来したアイデアに基づいて

作成された唐物の神能が、

日本中世の人々の中国観と

いかに繋がるか、

中世の能の作者と観客が

中国をいかに想像したか

◎日時……

7.1 [土]

2023

14時～16時 [13時30分受付開始]

◎会場……青山学院大学青山キャンパス11号館1134教室+オンライン(ハイブリッド開催)

◎講演者略歴

リム・ベンチャー (Lim Beng Choo)

シンガポール国立大学日本研究学科准教授。日本の伝統芸能および文学の研究を経て、現代文化も含めた日本文化のさまざまな分野に関心を持つ。現在は、日本の伝統芸能とデジタルテクノロジーに関するプロジェクトや能における中国の表象の研究を進めている。

◎発表要旨

神能とは、能番組の五番立の一番目の演目であり、脇能あるいは初番目物とも呼ばれている。祝祭的であることをその本質とする。神能の登場人物は、神や、それに類するような神力の持主である。神威を通して、国土を祝福し、土地の豊穰豊作を祈り、さらに神社や寺院などの縁起を語るのが、神能の通常の内容である。神能で語られる物語は比較的簡単で、賑やかな太鼓物も多い。物語の舞台は日本だけではなく、中国(唐土)の場合もある。中国人を主人公とする演目を「唐物」と呼ぶこともある。本講演では『東方朔』、『西王母』、『菊慈童』、『鶴亀』の四つの唐物の神能をめぐって、唐土から伝来したアイデアに基づいて作成された唐物の神能が、日本中世の人々の中国観といかに繋がるか、中世の能の作者と観客が中国をいかに想像したかを考察する。

◎プログラム

- 司会 韓京子 [青山学院大学教授]
- 14:00～15:00 講演(リム・ベンチャー)
- 15:00～15:10 休憩
- 15:10～15:20 コメント 滝澤みか [青山学院大学准教授]
- 15:20～16:00 質疑応答

◎参加申込

<https://forms.gle/GWvVasWXT5SuiMV47>



◎お問い合わせ 青山学院大学文学部日本文学科 TEL.(03)3409-7917 jpn@cl.aoyama.ac.jp <https://www.aoyama.ac.jp/faculty/literature/japanese/>